

【解説】

林さんは、長谷川部長に楽しんでもらうにはまず自分から楽しい雰囲気を作ろうと考えました。けれども日本人の場合は、自分が楽しむより相手をたてて楽しませることを第一に考え接待します。ですから木下課長は困った顔をしていたのです。

また、誘われた場合は「せっかくなのお誘いですから、今回はお言葉に甘えさせていただきます」、また接待された後は電話や手紙で「先日は、お気づかいいただきましてありがとうございます」など、お礼の一言も忘れないようにしましょう。

練習 ここでは接待のときに知っていると便利な言い方を練習してみましょーう。

(1)相手をほめる言い方：

<例>上手 → ゴルフがお上手だと伺いました。一度ご指導お願いいたします。

①ご趣味 ②お好き ③お得意

(2)相手に同意する言い方：

<例>部長 → まったく部長のおっしゃる通りです。

①渡辺社長 ②白石部長 ③鎌田課長

(3)「日本語お上手ですね」とほめられたとき謙遜する言い方：

<例>そんなこと → いいえ、そんなこと…。

①とんでもありません ②まだまだです ③それほどでもありません

(4)食べたくないものを勧められて上手に断る言い方：

<例>疲れたときはうなぎが一番だ、うなぎアレルギーだ

→ A：疲れたときはうなぎが一番です。君もどうですか。

B：申し訳ありませんが、うなぎアレルギーなので遠慮しておきます。

①納豆は栄養がある、湿疹がでる ②カキは生が一番だ、ジンマジンがでる

③ビールもう一杯いかが、医者から止められている

【豆知識】「接待を受ける前に」

接待を受ける場合はまず、先方との仕事の状況を考え、応じるか否かを判断します。もし一人で判断できない場合は、上司に相談し、指示をおおぎましよう。

【まとめ】

林さんと高橋さんと横山さんは3人でお酒を飲みに行きました。そこで、この間のカラオケオケスナックの話になりました。

横山：長谷川さんの接待のために行ったのに、林さんが自分だけ楽しんでたって、課長、怒ってらしたわよ。

林：えっ！ほんとに？ おかしいな。長谷川さん、帰るときに、「今夜はとても楽しかったです」っておっしゃってくださったよ。

高橋：それはタテマエって言うもんだよ。林さん。

林：タテマエか…。そういえば、この間お金集めたでしょ。

高橋：田村さんのお祝いのこと？

林：うん。みんなが何も言わないで同じようにお金を出すのを見て、僕、驚いちゃった。あれもタテマエ？

横山：それは違うワ。同じ部の人がみんな出していれば、やっぱり、あたしもみんなと同じようにするワ。そのほうが、摩擦が起こらないから。

林：それは、自分に自信がないからでしょう。

横山：まっ、失礼ね。林さん、ときどき失礼よ！ たとえばこの間、営業1課で飲みに行ったとき、先に帰っちゃったでしょ。あの後、みんなしらけちゃったのよ。

林：だって、僕、お酒、嫌いなんだ。

高橋：林さん、ホンネは僕だって同じだけど、それが会社のつきあいってものだよ。僕も、去年はそうだったけど「新人類」なんて陰で言われちゃって…。

林：へえ、冷たくされたの？

高橋：まあね。今は違うけど。

楽しんでたって；
「楽しんでいた」と
〜ていらっしやっただ

タテマエ (健前)

驚いちゃった；
驚いてしまった

あたし：わたし

摩擦
ままら

ホンネ (本音)

新人類：
しんじんるい

新しい考え方の人
(悪い意味で使う
ことが多い)

まあね

ホンネとタテマエについて、あなたはどよう考えますか。